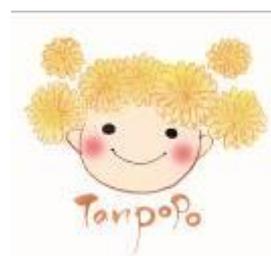


たんぽぽだより

2021年 10月号



まだまだ日中は暑い日が続きますね。しかし朝晩は秋の様子になり、肌寒い日が有り、体調を崩した子どもさんもありました。

運動会は延期になってしまいましたが、秋晴れの中ほぼ毎日園庭やお散歩へと出かけている子ども達少しづつたくましくなっているようです。

今は 我慢していることも多いと思いますが、運動会当日は、笑顔であふれる一日にみんなでしましょうね。

今まで子ども達が良く遊んだ事や、好きな遊戯や体操、ゲームをオリンピックを意識して競技にしました。しかし当日は、いつもと違った雰囲気の中で演技や競技をします。初めは驚いて、いつもの力が出せない子どもさん多いと思います。そういう時は保護者の皆様方も一緒に楽しんでください。その姿が子ども達の思い出に残る事と思います。



運動会が終わった後は、親子遠足があります、そして春に植えたサツマイモもだいぶ大きくなってきているでしょう、いもほりも有ります、それから味噌作りに、たんぽぽマルシェと続きます。

スポーツの秋・文化の秋・食欲の秋…etc 秋を楽しむ言葉はたくさんありますが、外に出かけるのが心地良い季節です。今のうちに代謝の落ちる冬に備えて体を作っておくことをお勧めします。(食欲の秋は、出来れば腹6分目に抑えられると良いですね。冬に向けて身体は脂肪を付けようとするので、脂肪がつきやすいですよ)

おねがい

- ・日中はまだ暑い日が続いています。水筒はいっぱいに入れてください。(常温でお願いします)
- ・オムツ他持ち物には名前を忘れず書いてください。
- ・歯ブラシを替えますので新しい物を持たせてください。

今月の目標：秋の自然にふれながら身体を動かして楽しむ。

つぼみ組【0歳児】：生理的欲求を満たし、自分の生活リズムで落ち着いて過ごす。過ごしやすい気候の中で、散歩や戸外遊びを十分に楽しむ。

もも組【1歳児】：寒暖差に留意し、一人ひとりが健康的に過ごせるようにする。秋の自然に触れながら、戸外遊びや散歩を楽しむ。

ゆり組【2歳児】：気温差や体調の変化に留意しながら健康に過ごす。戸外に出て、秋の自然に触れながら体を動かして遊ぶことを楽しむ。身の回りの事に関心を持ち自分の事は自分でしようとする。

10月の保育内容

養護

つぼみ組：戸外遊びが増える為、一人一人の行動や居る場所を把握し、次の行動を予測し、安全に過ごせるように気をつける。子どもが安定した気持ちで過ごし、興味や関心を持って、周囲とかかわっていけるように見守る。保育者に見守られながら安心して眠ることが出来る。

もも組：朝夕と日中の気温差や空気の乾燥など、感染症の予防に向けて、体調管理を行う。「〇〇イヤ」「〇〇したい」をありのままに言える雰囲気の中で、のびのびと生活する。おむつに排泄したことを知らせる。保育者に促されトイレで排泄する。

ゆり組：気温の変化に留意し、一人ひとりの体調に合わせて衣服の調節を行い元気に過ごす。身の回りのことを少しずつ自分で出来るようになり、サポートをしながらも出来た喜びを感じられるようにする。

教育

つぼみ組：運動会の練習でハイハイや、歩いたりして伸び伸びと体を動かす。色々な食材の味や形態に慣れる。他の子の近くで遊んだり関わろうとする。保育者の言葉を真似したり、喃語で話そうとしたりする。戸外に出かけ秋の虫の声を聞いたり植物に触れたり秋の自然を探索する。

もも組：様々な食材の味を知り、楽しみながら食べる。保育者に手助けされながら、ズボンに足を通し、両手でズボンを上げ、はこうとする。保育者や友だちとごっこ遊びを楽しむ。身の回りのものや人に関心を持ち、名称や友だちの名前を覚える。戸外遊びや散歩を通して、秋の虫や草花を見たり触れたりすることを楽しむ。手指を使ったり、保育者と一緒に歌ったり、身体を動かして楽しく遊ぶ。

ゆり組：椅子に正しく座り、スプーンやフォークを(お箸への移行がスムーズに出来るよう)下から持って楽しく食事をする。食事前、戸外から帰った後の手洗いを行い、ペーパータオルで綺麗に拭けるようになる。遊びや活動の中で友達と会話をしながら、思いやりのある言葉を使うようにする。友達や保育者とのごっこ遊びの中で、様々な言葉のやりとりを十分に楽しむ。戸外に出て、木の実や落ち葉に触れながら秋を感じる。戸外で見つけたものを友達と共有し、遊びへと繋げる。保育者に手伝ってもらいながらも自分で着脱しようとする

10月の歌 どんぐりころころ まつぼっくり いもほり